

国本中学校地域協議会

生涯学習センターと連携した放課後の学習支援「ありんこ学習室」

- 生涯学習センターを活用し、部活動が休みの毎週水曜日の放課後に学習支援を行う「ありんこ学習室」が開催されています。
- 「ありんこ学習室」では、元高校教員の先生が子ども達の学習支援をしています。学習方法は生徒自身が持ち込んだ教材による自習を基本としていますが、生徒が分からない問題は先生に質問し、個別に教えてもらうことができます。
- 現在講師を務めている先生が、高校を退職した後、「地域の子どものために自分に出来ることはないか」と国本生涯学習センターに問い合わせたことが活動の始まりでした。
- 生涯学習センターから地域コーディネーターへ、地域コーディネーターから学校・協議会へと話が繋がりました。そして、会長、副会長、地域コーディネーターが相談して「ありんこ学習室」の概要を作り、協議会の会議で認められ、「ありんこ学習室」が始まりました。
- 先生は、高校在職中に、勉強についていけないことがきっかけで、退学に至ってしまった生徒を多数見ており、退職後は、学習支援を通して、子ども達を助けたいと考えていたそうです。
- 「ありんこ学習室」での継続的な学習を通して、子ども達の学習に対する意欲が向上してきており、地域の教育力によって、子ども達の学習習慣の定着が図られています。



地域コーディネーターが受付



教材持込の自習が基本



生徒の質問には個別対応

【学校の声】

本校の生徒に勉強を教えて下さる地域のボランティアの方がいるということは大変ありがたいです。学校としても参加者の募集チラシを各教室に掲示するなど協力しています。また、本校は生涯学習センターが近くにあるため、実施場所として利用させていただいています。こうした地域の様々な支援が子ども達のより良い成長に繋がればと思います。

【地域協議会の声】

新しい活動を始めるのは、勇気が要るものですが、「子ども達の力になりたい」と手を挙げてくれた先生の意欲を大切に、会長、副会長、地域コーディネーターが協力して活動を始めることが出来ました。

「ありんこ学習室」の活動も含め、学校の負担にならずに、協議会としてお手伝いできる部分はどこかということを探りながら活動しています。

【いいね!】

- 生涯学習センターと協議会、学校が連携したことにより、新しい活動に繋がった先進的な事例である。
- 地域の教育資源である生涯学習センターを活用した好事例である。
- 部活動が休みの水曜日に実施することで、1・2年生の希望者も参加することができ、学習支援の対象者の拡大に繋がっている。

